



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 日本出版貿易株式会社
 コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 綾森 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 事業管理部総務部長 (氏名) 木村 樹

TEL 03 - 3292 - 3751

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,498	0.7	19		24	967.0	10	
2019年3月期第3四半期	5,535	5.4	10		2		5	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 10百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	14.56	
2019年3月期第3四半期	8.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	4,141	1,493	36.1	2,141.55
2019年3月期	6,252	1,512	24.2	2,168.63

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,493百万円 2019年3月期 1,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				30.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	0.4	130	28.7	120	3.4	75	11.9	107.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	700,000 株	2019年3月期	700,000 株
2020年3月期3Q	2,603 株	2019年3月期	2,603 株
2020年3月期3Q	697,397 株	2019年3月期3Q	697,406 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が弱含み、生産は一段と弱含んでいるものの、雇用情勢は改善が続いており、個人消費も持ち直し、企業収益も高い水準にあるなど、緩やかな回復基調が続いております。海外経済においても、テンボが鈍化しているものの緩やかに回復しておりますが、米中を中心とする通商問題に関する緊張の増大、中国経済の先行き、英国のEU離脱にかかる影響など、留意が必要な事象は数多くあると思われれます。

当社グループにおける出版物・雑貨等の輸出事業は、文具・雑貨類及び語学書と大学図書館向けマーケットの輸出は堅調に推移したものの、CD輸出は大型新譜の発売が少なく旧譜の受注も振るわなかったことから減収となりました。また、洋書・メディアの輸入事業は、ネット向け販売や学術雑誌など不調な部分があったものの、K-POPは大型新譜のリリースに加え旧譜の受注も好調に推移、語学テキストの受注も堅調であったことから増収となりました。

為替につきましては、前連結会計年度がドル高、ウォン安の影響で1,214万円に及ぶ多額の為替差益が計上されたのに対し、当連結会計年度はドル安、ウォン高の傾向となった結果、為替差益は348万円に留まり、前年対比では営業外損益において利益を押し下げる要因となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高54億9千8百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益1千9百万円（前年同四半期の営業損失1千万円）、経常利益2千4百万円（前年同四半期比967.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千万円（前年同四半期の純損失5百万円）と、微減収増益となりました。

事業の種類別セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

輸出事業は、文具・雑貨類につきましては、各地展示会への出展、参加により新規仕入先の拡大、取引先への提案強化の継続により好調に推移、語学書はきめ細かい対応が評価され売上拡大しております。また、大学図書館向けマーケットにおいても、顧客対応のレベルアップに努めており、堅調に推移したものの、CD輸出は大型新譜の発売が少なく、旧譜の受注も低調であったことから減収となりました。

利益面では、原価率は前年並みでありましたが、減収に比例し売上総利益が減少、対して業務効率化を目的としたシステム開発費用が増加し、営業利益は大きく減少いたしました。

その結果、当部門の売上高は10億4千3百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期比83.3%減）となりました。

(洋書事業)

代理店を務めております学術雑誌の売上減少に歯止めがかからないものの、大手英語テキスト出版社様にご協力をいただいている新刊説明会を始めとして国内外のイベントに参加することを通じて、関係先との戦略的互惠関係は深化しており、大学の採用品（教科書）の出荷は堅調に推移、英語塾、英会話学校など新たな販路も拡大、東南アジア留学生の増加による日本語テキスト類の販売も順調であることから、増収となりました。

利益面では、原価率は前年並みに推移し、運賃、アルバイト人件費等の変動費が高騰する中、業務効率化により経費を圧縮した結果、営業損失は減少いたしました。

その結果、当部門の売上高は13億8千1百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業損失は5千7百万円（前年同四半期の営業損失6千2百万円）となりました。

(メディア事業)

主力商材である輸入CDにつきましては、K-POPの大型新譜のリリースが相次いでなされ、K-POPは旧譜の受注も好調に推移し、売上に大きく貢献いたしました。また、自社オリジナルシリーズを主体とするクラシックは苦戦が続いており、第3四半期に入りネット事業者向けも減収傾向にあるものの、音響関連商品は下げ止まり感が出てきたことに加え、デジタル関係の商材も売上拡大していることから、増収となりました。

利益面では、K-POPの価格競争の激しさが若干緩和されたことにより原価率は改善、営業費用は運賃等の変動費の増加を最小限に止め、営業利益は大幅に増加いたしました。

その結果、当部門の売上高は24億3百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益は9千4百万円（前年同四半期比87.5%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

本社でのテナント事業は、前年度満室稼働となった時期が7月であったことから、未一巡効果により増収となりました。また、原価につきましても前年度発生した一時的な修繕費用が当年度は発生していないため、原価率が改善し、営業利益も増加いたしました。

その結果、当部門の売上高は5千8百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は3千2百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億1千1百万円減少し、41億4千1百万円となりました。これは主に流動資産で受取手形及び売掛金が16億4千5百万円、前渡金が2億7千4百万円減少したことが要因です。大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少し、年間購読雑誌の仕入に係る前渡金が減少しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億9千2百万円減少し、26億4千7百万円となりました。これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が15億2千6百万円、前受金が2億9千7百万円それぞれ減少したことが要因です。上述の大学等への英語教科書の仕入代金支払により支払手形及び買掛金が減少し、年間購読雑誌の出荷に係る前受金が減少しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は14億9千3百万円となり前連結会計年度末に比べ1千8百万円減少しております。これは配当金2千万円の支払いにより利益剰余金が減少したことが要因です。

以上の結果、自己資本比率は36.1%(前連結会計年度末は24.2%)となり、11.9ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月15日付「2019年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」の通りであります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,944	568,797
受取手形及び売掛金	2,702,310	1,057,298
商品及び製品	1,403,708	1,318,004
貯蔵品	13	40
前渡金	297,699	23,237
その他	48,894	109,468
貸倒引当金	△1,919	△736
流動資産合計	5,159,652	3,076,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	112,174	97,073
土地	667,900	667,900
リース資産(純額)	33,636	25,949
その他(純額)	11,450	8,779
有形固定資産合計	825,162	799,703
無形固定資産		
のれん	5,142	4,499
その他	40,447	38,302
無形固定資産合計	45,589	42,801
投資その他の資産		
投資有価証券	123,826	126,066
繰延税金資産	81,115	79,304
その他	23,711	23,365
貸倒引当金	△6,192	△6,190
投資その他の資産合計	222,460	222,544
固定資産合計	1,093,212	1,065,049
資産合計	6,252,864	4,141,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,412,930	886,562
短期借入金	896,424	874,037
リース債務	12,640	11,522
未払法人税等	37,391	17,676
前受金	425,052	127,455
賞与引当金	25,697	5,346
返品調整引当金	45,430	6,083
その他	223,558	147,849
流動負債合計	4,079,124	2,076,533
固定負債		
長期借入金	240,725	156,925
リース債務	28,915	20,506
退職給付に係る負債	161,174	164,732
繰延税金負債	1,232	—
再評価に係る繰延税金負債	187,998	187,998
その他	41,300	40,952
固定負債合計	661,346	571,115
負債合計	4,740,471	2,647,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	483,836	473,071
自己株式	△6,171	△6,171
株主資本合計	1,103,455	1,092,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,359	12,456
土地再評価差額金	425,975	425,975
為替換算調整勘定	△25,656	△35,294
退職給付に係る調整累計額	△2,740	△2,315
その他の包括利益累計額合計	408,938	400,821
純資産合計	1,512,393	1,493,511
負債純資産合計	6,252,864	4,141,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,535,515	5,498,111
売上原価	4,538,316	4,490,159
売上総利益	997,199	1,007,952
返品調整引当金戻入額	63,385	73,776
返品調整引当金繰入額	24,562	34,429
差引売上総利益	1,036,022	1,047,299
販売費及び一般管理費	1,046,038	1,028,087
営業利益又は営業損失(△)	△10,015	19,212
営業外収益		
受取配当金	3,432	3,775
貸倒引当金戻入額	—	1,184
為替差益	12,147	3,480
その他	4,302	2,835
営業外収益合計	19,882	11,275
営業外費用		
支払利息	5,031	4,777
その他	2,494	737
営業外費用合計	7,526	5,515
経常利益	2,340	24,972
特別利益		
固定資産売却益	372	—
特別利益合計	372	—
特別損失		
固定資産除却損	—	46
特別損失合計	—	46
税金等調整前四半期純利益	2,713	24,925
法人税等	8,398	14,769
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,685	10,156
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,685	10,156

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,685	10,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,147	1,096
為替換算調整勘定	△2,318	△9,637
退職給付に係る調整額	326	424
その他の包括利益合計	△5,139	△8,116
四半期包括利益	△10,824	2,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,824	2,040
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	出版物・雑貨 輸出事業	洋書事業	メディア事業	不動産賃貸事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,138,322	1,370,739	2,354,945	56,256	4,920,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	343,876	—	—	—	343,876
計	1,482,199	1,370,739	2,354,945	56,256	5,264,140
セグメント利益又は損 失(△)	31,558	△62,790	50,520	27,771	47,059

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	615,252	5,535,515	—	5,535,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	557	344,434	△344,434	—
計	615,809	5,879,950	△344,434	5,535,515
セグメント利益又は損 失(△)	△10,491	36,567	△46,583	△10,015

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△46,583千円はセグメント間取引消去11,884千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,468千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	出版物・雑貨 輸出事業	洋書事業	メディア事業	不動産賃貸事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,043,214	1,381,501	2,403,505	58,177	4,886,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	302,887	—	—	—	302,887
計	1,346,101	1,381,501	2,403,505	58,177	5,189,286
セグメント利益又は損 失(△)	5,262	△57,845	94,706	32,837	74,960

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	611,712	5,498,111	—	5,498,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	340	303,227	△303,227	—
計	612,053	5,801,339	△303,227	5,498,111
セグメント利益又は損 失(△)	1,306	76,266	△57,054	19,212

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△57,054千円はセグメント間取引消去2,108千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,162千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。